

西伊豆・地域おこし協力隊 酒井さん

ヒヨコ100匹迎え入れ



ヒヨコを優しく見守る酒井さん＝西伊豆町内

養鶏 本格スタート

ビニールハウスを活用して養鶏を目指す西伊豆町地域おこし協力隊の酒井宏治さん(52)が、ヒヨコ約100匹を迎え入れた。ハウス内にヒヨコの「ピヨピヨ」というかわいらしい鳴き声が響く中、酒井さんは本格的に養鶏をスタートした。順調に成長すれば、来年1月ごろに卵を産むようになるという。

酒井さんは加工の幅が広い卵に可能性を感じ、より自然に近い環境で飼育する「平飼い」に向けて1年以上前から放置されたビニールハウスを整備し、7月中旬に完成した。

ビニールハウス活用

来年1月に産卵

ヒヨコの品種は「あずさ」で、生後数日ほどで迎えた。餌は自家配合することだわりで、米ぬかやおからを発酵させたものをメインに、もみ殻やかつお節粉なども混ぜている。水は地元の湧き水を与えているという。

10月ごろには、さらにもう100匹を迎え入れる予定。酒井さんは「子どもみたいなもので、家族の一員。命の重責を負った。大きくなるのを毎日見守っていきたい」と目を細めた。